

28年6月分 プレカットの荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成28年6月1日～ 28年6月10日

2. 調査実施方法

全国のプレカット工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
6月分の回答企業数は6社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) プレカット加工用部材の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/6月	7月	8月
仕入 動向	国産材製材品	0.0	8.3	8.3
	外材製材品	0.0	0.0	0.0
	構造用集成材	30.0	10.0	20.0
消費 動向	国産材製材品	8.3	8.3	8.3
	外材製材品	16.7	8.3	8.3
	構造用集成材	20.0	0.0	20.0
在庫 動向	国産材製材品	0.0	8.3	△ 8.3
	外材製材品	16.7	8.3	△ 16.7
	構造用集成材	10.0	10.0	△ 10.0

・国産材プレカット部材の仕入れは6月の横ばいが、7月、8月はやや増加。外材は3ヵ月連続して横ばい。構造用集成材は3ヵ月連続して増加。

・プレカット部材の消費は、国産材、外材及び構造用集成材共に総じて3ヵ月連続して増加。

・国産材プレカット部材の在庫は6月の横ばいが、7月は増加、8月は再び減少。外材及び構

(2) プレカット工場受注動向 Weight. D. I.

品目	28/6月	7月	8月
受注	16.7	8.3	8.3
加工	16.7	16.7	8.3
受注残	8.3	△ 8.3	△ 8.3

・プレカット工場の受注及び加工は、3ヵ月連続して増加。受注残は6月の増加が、7月、8月は減少。

モニターからのコメント

(加工用部材荷動き)

・仕入れ・消費に大きな変化ない。在庫はやや多めで推移。
・構造用集成材は少し多めに仕入れたため、翌月は調整。外材製材品はアイテムによって不足している物も出てきたので、少しずつ仕入れは増やしていく。外材製材品の消費減少が落ち着いてきたので、ここから先は横ばい。外材製材品の仕入れはストップをかけているので、ここから減らしていき、適正在庫に持っていく。
・WW集成材にタイト感。

(受注動向)

・低水準で推移。大きな山は期待できず。
・受注量は良くない。
・今月は大型物件があり、加工坪数増加。